

令和二年度 札幌市立北野台中学校

第三十三回 「卒業証書授与式」

## 式 辞

「絶景」。

「絶景」とは、他に例えようもない素晴らしい景色のことです。そしてこれは、卒業生の皆さんの学年スローガンでもあります。皆さんは、卒業式にこの「絶景」をつくり出すことを目標に今日まで頑張ってきました。

本日、卒業式を迎え、今、私の目の前には、感動的で素晴らしい景色が広がっています。そのような景色をつくり出した卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

実は、私はこれまでに、皆さんがつくり出した「絶景」を何度も見てきました。

9月に延期となった修学旅行では、出会った人たちとの出会いを大切にし、自分たちの旅行をよいものにしようと皆で協力して行動する姿に感動しました。

また、学校祭と合唱コンクールができず、代わりに実施した「北野台2020（ニーゼロニーゼロ）」では、最上級生として後輩に伝統を伝えようと奮闘し、趣向を凝らしたステージ発表を行ったり、中庭で学年合唱を披露しました。私は図書室前のバルコニーで皆さんの合唱を聴かせてもらいましたが、在校生が中庭に面した窓から皆さんの姿を見ているあの時の景色と、皆さんの素晴らしい歌声は一生忘れられないものとなりました。

そして、学年集会などで皆さんの前で話をする時は、全員の視線が自分に注がれる緊張感を味わいながら、目と心で話を聞く皆さんの姿勢にいつも感心していました。今も目の前に広がっているのは、その素晴らしい景色です。

先の見えないこの一年間でしたが、皆さんは過酷な試練を乗り越え、最上級生としての使命を立派に果たしてくれました。

さて、四月からは、一人一人が自分の「絶景」を求めて進んでいくこととなります。その歩む道は決して楽な一本道ではなく、分岐点や難所もあり、途中で決断することも多くあると思います。

そのような時に大事なことは、自分に問いかけ、自分の「本

「本気」を確認することです。そして、その「本気」の自分が、目の前の課題を一つ一つクリアしていくことで、最終的に自分が本当に求めていた絶景にたどり着くのだと思います。

終わりにりましたが、本日は、来賓並びに地域の皆様を代表し、白戸PTA会長にご臨席賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

保護者の皆様、この三年間の中学校生活で、お子様は心身ともに立派に成長されました。今日を迎えるまでには、言葉には言い尽くせない、ご心労があったことと思いますが、お子様の晴れ姿をご覧になり、感激は尽きないものとご推察申し上げます。本日は誠におめでとうございます。そして、これまで本校にいただきました、ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

卒業生の皆さんの限りない前途を祝し、ますますの成長を心から祈念して本日の式辞といたします。

令和三年三月十五日 札幌市立北野台中学校

校長 安田 仁昭